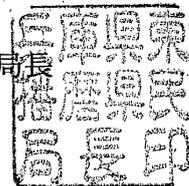


東播(加土)第 2159 号
令和 4 年 1 月 26 日

明石市長様

兵庫県東播磨県民局長



明石港東外港地区再開発について

県では、明石港砂利揚場の跡地活用のため、平成 29 年度に明石市の参画を得て策定した「明石港東外港地区再開発計画」に基づき、明石港東外港地区を中心市街地の南の拠点として回遊性を高めることにより、中心市街地のさらなる「にぎわい創出」を図ることを基本的な方向性として、再開発に取り組むこととしています。

現在、コロナ禍に伴う社会経済情勢を踏まえて公募の時期を検討しているところですが、今後、再開発着手に向けて事業者の公募を実施したいと考えています。

については、市としてご意見、ご要望等があれば、その考え方を整理し、本年 3 月末日途に、文書でご説明をお願いいたします。

なお、明石港東外港地区再開発に対する県の考え方は下記のとおりです。

記

1 明石港東外港地区再開発の基本的考え方について

- ・令和 2 年度に設置した県市調整会議での検討を踏まえ、明石港再開発は、民間のノウハウを活用してにぎわいの創出を図るため、公募により選定した民間事業者により行う。

2 市の公的施設建設案について（図書館、芸術文化センター、水族館）

- ・明石公園内にある県立図書館を明石港東外港地区に移転する考えはない。
- ・芸術文化センター及び水族館を県立施設として整備する考えはない。
- ・市が、明石港東外港地区に市立施設の設置を検討するのであれば、その内容を踏まえ協議に応じる。

<参考> 別添資料 1 「明石港東外港地区再開発計画 概要版 名簿」
別添資料 2 「明石港東外港地区再開発の経緯」

4. 土地利用の基本的な方向性と方針

<土地利用の基本的な方向性>

中心市街地の南の拠点を形成し、回遊性を高めることにより、中心市街地のさらなる「にぎわい創出」を図る

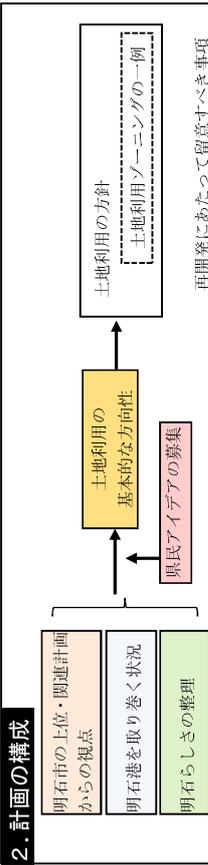
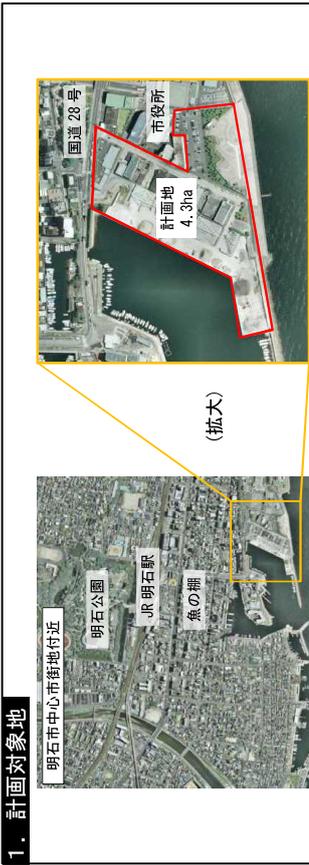


にぎわいつくり

<p>[方針①] 活気に溢れ多くの人々を惹きつけるにぎわい空間の形成</p> <p>【施設例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飲食施設 体験型施設 地域物産販売 カフェ ショッピング 	<p>[方針②] 明石海峡の風光明媚な環境と触れ合える場の提供</p> <p>【施設例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観水広場 プロムナード ボートハーブ キャンプ場 釣り場 	<p>[方針③] 明石と来訪者を結びつける滞在拠点の創出</p> <p>【施設例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の回遊を促す拠点の形成 観光客への案内・情報提供機能の導入 癒しと安らぎを提供する滞在空間の形成 	<p>[方針④] 中心市街地の回遊を促す交通・観光ネットワークの形成</p> <p>【施設例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来訪者を迎えるエントランス空間の形成 交通アクセスの利便性向上 安全で快適な歩行者や自転車の通行導線の確保 	<p>[方針⑤] みなどの機能を活かした海上周遊及び海上交通機能の強化</p> <p>【施設例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸壁等の施設を活かしたクルーズ機能強化 瀬戸内海への玄関口として、観光体験の提供 	<p>[方針⑥] 安全安心の確保と良好な居住環境の提供</p> <p>【施設例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に対する安全安心の確保 水辺を身近に感じ快適に利用できる空間の形成 住宅等の整備による定住の促進
---	--	--	--	---	--

交流の促進

良好な居住環境



3. 現状分析と県民アイデア募集

(1) 明石市の上位・関連計画からの視点

- まち・ひと・しごと・創生総合戦略
- 第5次長期総合計画
- 都市計画マスタープラン
- 観光振興基本構想
- 中心市街地活性化基本計画

⇒ (明石港への要請を抽出)

にぎわいつくり

- ✓ にぎわいつくり等に寄与する観水空間の創出
- ✓ 海を感じる観水資源としての利用促進
- ✓ 中心市街地活性化の南の拠点として整備

(2) 明石港を取り巻く状況

人口	市全体で増加傾向 (特に中心市街地で顕著)
観光	主目的は「特産品の買い物・食事」
開発	明石駅前南地区開発 たこ7エール跡地開発
水域	漁船・ブリッジャーボート利用 砂砂利の荷役

(3) 明石らしさの整理

- 鯛、たこ、のり、明石焼きなどの「食」
- 明石海峡を望む風光明媚な環境
- 神戸大阪から通勤、通学が便利な住宅都市
- など

【結果】 にぎわいに関する内容が 95%を占めた

(4) 県民アイデア募集

【募集期間】 H28.11.5~11.25

【結果】 138人から計483件(23機能)のアイデア

計画地に要請される機能	分類(件数)
1 釣り	
2 生物の展示	
3 マリンレクリエーション	レジャーエンjoy (128件)
4 クルーズ	
5 キャンプ	
6 眺望	
7 観水広場	
8 食	
9 地域物産の販売	食の物販・体験 (124件)
10 カフェ・酒場	
11 観光資源の体験	
12 宿泊	
13 道の駅	潜在 (90件)
14 市内回遊の滞在・拠点	
15 市内回遊の促進	
16 住居	居住・公園 (63件)
17 運動	
18 公園	
19 ショッピング	
20 イベント開催の場	商業・娯楽 (37件)
21 アミューズメント	
22 展示・学習機能	学習 (12件)
23 その他	その他(29件)

※ 本資料は、計画本編の主な内容を抜粋し記載したものです。

1.2 明石港東外港地区再開発計画検討委員会

(1) 委員名簿

区分	所属等	氏名	備考
学識経験者	明石工業高等専門学校 名誉教授	◎大橋 健一	
	大阪大学大学院 教授	加賀 有津子	
	流通科学大学 教授	柏木 千春	
	兵庫大学 副学長	○田端 和彦	
地元代表	明石市連合まちづくり協議会 顧問	橋本 浩司	
	中崎まちづくりの会 会長	伊藤 一	
漁業関係者	明石市漁業組合連合会 会長	橋本 幹也	
商工会議所	明石商工会議所 副会頭	西海 正隆	
観光振興	(一社)明石観光協会 専務理事	檜原 一法	
国	近畿地方整備局港湾空港部計画企画官	酒井 貴司	
市	明石市政策局長	宮脇 俊夫	
	明石市理事 (技術担当)	福田 成男	
県	兵庫県県土整備部土木局港湾課長	雨宮 功	
	兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所長	岩崎 日出夫 (伊藤 裕文)	

◎：会長、○：会長代理、()は前任者

(2) 開催状況

回	開催時期	検討内容
第1回	平成28年10月4日	・明石港への要請・課題
第2回	平成29年1月17日	・「明石らしさ」の整理 ・土地利用の具体的な方向性と導入する機能
第3回	平成29年5月12日	・土地利用の考え方と導入機能
第4回	平成29年8月16日	・再開発計画 (素案)
第5回	平成29年10月23日	・再開発計画とりまとめ

明石港東外港地区再開発の経緯

- H28. 10～H29. 10 明石港東外港再開発計画検討委員会（基本計画の策定、5回）
- H30. 9 「砂利揚場は不退転の決意で廃止する。」（知事発言）
- R1. 12 砂利揚場の廃止決定
- R2. 5～9 県・市調整会議、ワーキング（公募条件の概略検討、計4回）
- R3. 7. 1～8 公募に向けたサウンディング調査（企業からの意見聴取）
- R3. 10. 20 県から明石市に、「旧明石市立図書館の設置許可について」及び「県立図書館について」を文書発出